

寺子屋のいろは

まな
学びの場

なまえ



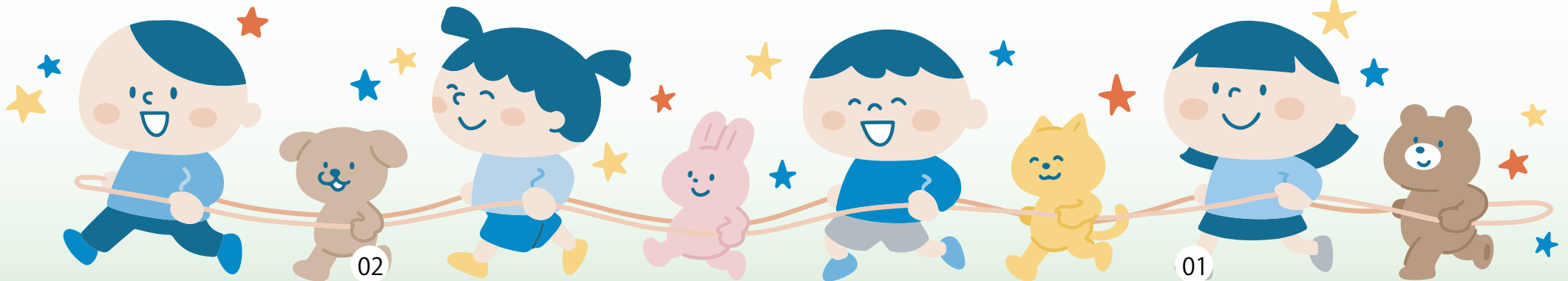
発行 全国日蓮宗青年会

もくじ

なんでもメモ

てらこや もくひょう
寺子屋での目標をたててみよう！

p.01-02	もくじ・メモ
p.03-04	<small>かいきょうげ</small> 開経偈
p.05-08	<small>じがげ</small> 自我偈
p.09	<small>だいもく</small> お題目ってなんだろう？
p.10	<small>きょう</small> お経ってなんだろう？
p.11-12	<small>じきほう</small> <small>しょくじ</small> 食法・食事のマナー
p.13	<small>ほんどう</small> <small>やくそく</small> 本堂での約束
p.14	<small>てらこや</small> 寺子屋のルール
p.15-16	<small>はなし</small> つながりのお話
p.17-18	<small>しゃか</small> <small>ねが</small> お釈迦さまの願い
p.19-20	<small>にちれんしょうにん</small> <small>ねが</small> 日蓮聖人の願い



開経偈

お釈迦様の教えを学び信じていることをちかう言葉

無上甚深微妙の法は、百千万劫にも遭遇たてまつること難し。我今見聞し受持することを得たり。願

わくば如来の第一義を解せん。至極の大乗、思議すべからず。見聞触知、皆菩提に近づく。能詮は報

身、所詮は法身、色相の文字は、即ち是れ応身なり。

無量の功德、皆是の経に集まれり。是の故に自在に、冥に薰じ密に益す。有知無知、罪を滅し善を生

ず。若しは信、若しは謗、共に仏道を成ぜん。(ず)三世

の諸仏、甚深の妙典なり。生々世世、値遇し頂戴せ

ん。



妙法蓮華經 如来寿量品第十六

全ての人を仏様にしたいたいというお釈迦様の願いが説かれたお経

自我得仏来 所経諸劫数 無量百千万 億載阿僧祇

常説法教化 無数億衆生 令入於仏道 爾来無量劫

為度衆生故 方便現涅槃 而実不滅度 常住此説法

我常住於此 以諸神通力 令顛倒衆生 雖近而不見

衆見我滅度 広供養舍利 咸皆懷恋慕 而生渴仰心

衆生既信伏 質直意柔軟 一心欲見仏 不自惜身命

時我及衆僧 俱出靈鷲山 我時語衆生 常在此不滅

以方便力故 現有滅不滅 余国有衆生 恭敬信樂者

我復於彼中 為説無上法 汝等不聞此 但謂我滅度

我見諸衆生 没在於苦海 故不為現身 令其生渴仰

因其心恋慕 乃出為説法 神通力如是 於阿僧祇劫

常在靈鷲山 及余諸住处 衆生見劫尽 大火所燒時

我此土安穩

天人常充滿

園林諸堂閣

種種寶莊嚴

寶樹多花果

衆生所遊樂

諸天擊天鼓

常作衆伎樂

雨曼陀羅華

散仙及大衆

我淨土不毀

而衆見燒盡

憂怖諸苦惱

如是悉充滿

是諸罪衆生

以惡業因緣

過阿僧祇劫

不聞三寶名

諸有修功德

柔和質直者

則皆見我身

在此而說法

或時為此衆

說仏壽無量

久乃見仏者

為説仏難値

我智力如是

慧光照無量

壽命無數劫

久修業所得

汝等有智者

勿於此生疑

當断令永尽

仏語實不虛

如医善方便

為治狂子故

實在而言死

無能説虚妄

我亦為世父

救諸苦患者

為凡夫顛倒

實在而言滅

以常見我故

而生憍恣心

放逸著五欲

墮於惡道中

我常知衆生

行道不行道

隨心所可度

為説種種法

每自作是念

以何令衆生

得入無上道

速成就仏身

お題目

って何だろう？

「南無妙法蓮華經」をお題目と言います。

お釈迦様の教えの全てです。元気な声でハキハキと唱えましょう。

文字の線をなぞってお題目を書いてみよう！

南無妙法蓮華經

願いごと

お経

って何だろう？

お経はお釈迦さまが説かれた教えを漢字にしたものです。漢字ばかりのお経ですから、なかなか理解することは難しいですが、その意味全てを理解

していなくても一所懸命に唱えることでお釈迦さまの智慧や功德を得ることができます。

なので、お経本は大切に扱きましょう。



やってみよう！



食法 じきほう

ごはんの前に唱える大切な言葉 まへとなたいせつなことは

天の三光に身を温め、地の五穀に精神を養う。
 みなこれ本仏の慈悲なり。たとえ一滴の水、
 一粒の米も功德と辛苦によらざることなし。
 われらこれによって心身の健康をまっとうし、
 仏祖の教法を守って四恩に報謝し、奉仕の浄
 行を達せしめたまえ 南無妙法蓮華經
 いただきます。



やってみよう!

食事のマナー しょくじ

●きみはいくつできたかな? チェックしてみよう!

- できた!
- △ すこしできた
- × つぎはがんばる!



- | | | | | |
|---|--|---|---|---|
| ① | 食 <small>た</small> べる前 <small>まえ</small> に食法 <small>じきほう</small> を唱 <small>とな</small> える | ○ | △ | × |
| ② | 背筋 <small>せすじ</small> を伸 <small>の</small> ばし、姿勢 <small>しせい</small> よく食 <small>た</small> べる | ○ | △ | × |
| ③ | 正 <small>ただ</small> しくお箸 <small>はし</small> を持 <small>も</small> つ | ○ | △ | × |

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ④ | 口 <small>くち</small> に食 <small>た</small> べ物 <small>もの</small> を入 <small>い</small> れたままおしゃべりしない | ○ | △ | × |
|---|---|---|---|---|

- | | | | | |
|---|--|---|---|---|
| ⑤ | 残 <small>のこ</small> すときは「ごめんなさい、南無妙法蓮華經」 | ○ | △ | × |
|---|--|---|---|---|

- | | | | | |
|---|--|---|---|---|
| ⑥ | | ○ | △ | × |
|---|--|---|---|---|

- | | | | | |
|---|--|---|---|---|
| ⑦ | | ○ | △ | × |
|---|--|---|---|---|

本堂での約束

●本堂はいろいろな人がお参りをする大切な場所です。約束を守って気持ちよく過ごそう。



手を合わせる

本堂は仏さまのお家です。お友達の家に上がる時に「おじゃまします」を言うように、仏さまのお家へ上がる時は手を合わせましょう。

騒がない

大きな声は周りの人をビックリさせちゃうからやめようね。

走らない

ドタバタ足音はケガのもと。

触らない

本堂には大切なものがたくさん。触って壊れたら大変！

やってみよう!

寺子屋のルール

●きみはいくつできたかな？チェックしてみよう！

- できた!
- △ すこしできた
- × つぎはがんばる!

① 元気よく笑顔ですごそう

② 挨拶と返事をしっかりしよう

③ くつやスリッパをそろえよう

④ 友達と仲良くしよう

⑤ 失敗する勇気を持つよう

⑥

⑦

つながりのお話

はなし

一本の大きな木に葉が

青々と繁っています。

よく見てごらん。葉を

支える枝、枝を支える太い幹、

幹を育てる根っこ。根っこは土の中に

あるから見えない。見えないけれど大きな木を支

えている。また、水が無ければ大きな木も育たない。

人も同じです。葉が君たちだとすると、枝は親

や友達、幹は祖父母、根っこはご先祖様。木に水

を与えるように、君たちに繋がる

全ての人たちへ感謝の気持ちを

もって手を合わせよう。繋がって

きた命に手を合わせよう。



お釈迦さまの願い

この世の中の命があるものは
みんな幸せでありますように。
この世の中の命があるものは
みんな安心して暮らせますように。
だれであつても、
人をだますことが
ありませんように。

だれであつても、
人の悪口を言うことが
ありませんように。
だれであつても、
人に苦しみを与えることが
ありませんように。
だれであつても、
優しい心を持ち続けることが
できますように。



日蓮聖人の願い

にちれんしょうにん

ねが

南無とは大切にするといい

意味があります。南無妙法蓮華経とは

妙法蓮華経の教えを大切にしますという意味

です。妙法蓮華経はお釈迦様の教えです。

いつもそばにお釈迦様がいること、全ての人々

が仏様になれることが説かれています。

日蓮聖人は、このお題目 || 南無妙法蓮華経

が世界中に広まり、みんなが仏様になり幸せ

になることを願っています。

